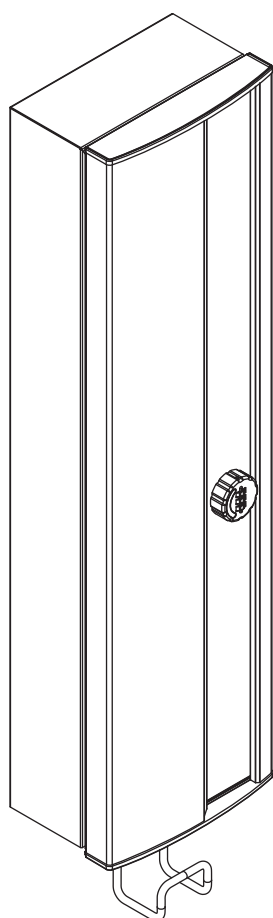
NITO

取扱説明書

EV・PHEV用普通充電シリーズ

コンセント付タイプ（２００Ｖ・１００Ｖ用）　ＥＶＰ－１ＲＲ

もくじ

はじめにご確認ください

ご使用前に

充電方法

必要なとき

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

安全上のご注意 - 1

安全なご利用のために 必ずお守りください。

安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では安全注意事項のランクを「危険」「警告」「注意」として区分してあります。

ランク	内容
⚠危険	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。
⚠警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、安全注意事項ランク「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

 してはいけない

 気をつける

 分解禁止

 必ず守る

 水ぬれ禁止

 アースせよ

■保守・点検上のご注意

・安全にご使用いただくため、日常点検・定期点検は必ず実施してください。
・施工工事店様にて保守・点検を実施する際は、取扱説明書（本紙）とあわせて施工説明書もご確認ください。
・「日常点検・定期点検」（P.16）に従って点検を実施し、異常や不具合があれば使用せず、直ちに「お問合わせ先」（P.20）までご連絡ください。

⚠危険

有資格者（電気工事士※）以外の電気工事は法律で禁止されています。
※工事内容や規模によってはこの限りではありません。

製品に水をかけてクリーニングしないでください。
感電や故障の原因となります。

定期点検のときは本製品の切替スイッチと電気を供給している給電元ブレーカを必ずOFFにしてください。
感電のおそれがあります。

⚠警告

線間の絶縁抵抗測定は、製品から配線を外して配線を測定してください。
配線を外さずに測定すると破損のおそれがあります。
対地間の絶縁抵抗測定は、製品に配線を接続して250V以下で測定してください。500V以上の測定は破損のおそれがあります。

電源線を配線する際は、必ず分電盤に専用回路を設け、給電元に高速高感度形（0.1sec　15mA）の漏電ブレーカ（定格1φ3W 100/200V 20A）を設置してください。

感電防止のため、必ず接地工事（D種）をしてください。
感電のおそれがあります。

⚠注意

国外では使用しないでください。

日本国内専用です。

電気自動車およびプラグインハイブリッド車の充電に使用できます。

使用を終了した製品は、万一の場合にそなえ、放置せずに撤去してください。

動物などの排泄物が付着した場合は、クリーニングしてください。

植栽などの土がかからないようにしてください。

積雪時は適宜、除雪してください。

有機溶剤、切削油、薬品等のかかる場所または充満した場所では使用しないでください。
また、本製品外装部品の耐薬品性は下表を参考にしてください。

薬品など	性能	薬品など	性能	薬品など	性能
弱酸	○	アルコール	×	シンナー	×
強酸	×	ベンジン	×	四塩化炭素	×
弱アルカリ	○	ガソリン	×	油	×
強アルカリ	×	灯油	×	有機溶剤	×

○: 実用に耐える
×: 使用に適さない
（ヒビ、割れの発生する可能性有り）

設置場所の環境条件により差が生じる場合がありますので、ご使用の際は必ず使用目的に沿った実用試験にて性能を確認してからご使用ください。故障の原因となる可能性があります。

■コンセント・充電ケーブル取扱いのご注意

⚠危険

破損したコンセント、充電コネクタ、充電ケーブル、電源プラグは使用しないでください。
感電や火災のおそれがあります。

電源プラグの抜差しが極端に弱くなったコンセントは使用しないでください。
焼損や火災の原因になります。

コンセントに水をかけないでください。
万一水がかかったときは、すぐに使用を中止し乾いた布で拭取ってください。漏電、火災、感電のおそれがあります。

定格容量を守ってご使用ください。
定格容量を超えての使用は感電、火災のおそれがあります。

電源プラグは根元を持って抜いてください。
ケーブルを持って抜くと感電や火災のおそれがあります。

電源プラグは確実に奥まで差込んでください。
感電のおそれがあります。

コンセントと電源プラグは直接接続してください。
コンセントとの間に充電自動車メーカー推奨の延長コード以外は接続しないでください。誤って接続すると感電、火災の原因になります。

⚠警告

電源プラグを引張った状態で使用しないでください。
ロックがはずれて電源プラグがぬけるおそれがあります。

充電ケーブルは十分な余裕を持たせた状態で使用してください。

⚠注意

充電ケーブルで足を引掛けないよう、ご注意ください。

炎天下での使用の際は、コントロールボックス表面が高温になるおそれがありますので、ご注意ください。

ボデー内部には、工具、異物など車載の充電ケーブル以外のものは入れないでください。
故障、けがの原因になります。

充電ケーブルは地面に触れないように巻きつけてください。 足の引掛けや充電ケーブルが傷つく原因となります。

製品や車両から充電コネクタをぬく時は、充電ケーブルを引張らずに行ってください。

充電ケーブルにねじれが生じた場合は、ねじれを直してからご使用ください。

安全上のご注意 - 2

■使用上のご注意

⚠危険

通電中に端子部に触れないでください。
感電、誤動作の原因になります。

こどもなど不慣れな方だけで充電作業を行わないでください。

充電コネクタを車両に接続したまま発車させないでください。
故障、感電、けがの原因となります。

地震、台風、落雷、浸水など災害が発生した時には、安全が確認されるまで製品を使用しないでください。
故障、感電、けがの原因になります。

電源復帰時に製品の安全性が確認できない場合は、製品に触れないでください。
故障、感電、けがの原因になります。

分解、改造は絶対に行わないでください。

製品を他の場所へ移動させる場合は、必ず有資格者（電気工事士※）が行ってください。
故障、感電、けがの原因になります。（※工事内容、規模によってはこの限りではありません）

充電は車両の電源が切れている状態で行ってください。
故障、感電、けがの原因となります。

部品の交換は必ず有資格者が行ってください。

⚠警告

高圧洗浄は絶対にしないでください。
感電や故障の原因になります。

弊社指定部品以外の取付けは行わないでください。
強度不足など不具合が発生する原因となります。

本製品をクリーニングする場合や、部品を交換する場合は、必ず本製品の切替スイッチと給電元ブレーカをOFFにし、本製品への電源供給を停止してから行ってください。
感電や故障の原因になります。

充電をする際は、車両のパーキングブレーキなどを利用し確実に駐車してください。
感電や故障の原因になります。

異臭、発熱、変色、変形などの異常が現れた場合は、直ちに使用を中止し「お問合わせ先」(P.20)までご連絡ください。

ドアを必ず閉めてください。
水滴の浸入や風によるドアの破損により、故障、感電、けがの原因になります。

雨の日に使用する場合は、内部に水がかからないように使用してください。

⚠注意

直射日光により、表面が高温になるおそれがあります。炎天下での使用の際はご注意ください。

強い衝撃を与えないでください。

故障、火災の原因になります。

上に乗ったり、もたれたりしないでください。

破損し、事故につながるおそれがあります。

たわしや研磨剤、アルコールやベンジンなどの可燃・不燃性溶剤等を使用して洗浄しないでください。

製品を損傷するおそれがあります。

布や、布団、衣服などで覆わないでください。

故障の原因となります。

製品に貼付してある銘板シール（製造年月、製造番号等の記載シール）をはがしたり、汚したりしないでください。

クリーニングする際は、ワックスやカーシャンプーを使用しないでください。

製品を損傷するおそれがあります。

高精度な電子機器の近くに設置しないでください。

電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：補聴器、その他医療用電気機器、火災報知器）

植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器（ICD）をお使いの方は、充電器本体部からの電波が作動に影響を与えるおそれがありますので、充電中は密着するような姿勢はとらないでください。

本製品をご利用の前に車両の取扱説明書をご確認ください。

ドアで手や指を挟まないように、注意してください。

けがの原因となります。

ドアでケーブルを挟み込まないようにしてください。

ケーブルを破損する原因となります。

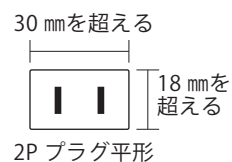
車載の充電ケーブルのご使用方法は、車両の取扱説明書をご確認ください。

■その他のご注意

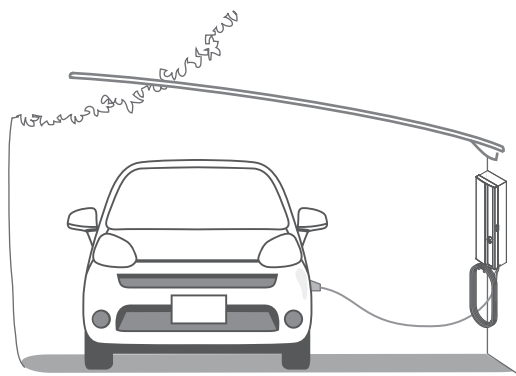
- コンセントには寿命があります。差込みがゆるくなったり、コンセントカバーが閉まらなくなったときは、コンセントの寿命です。

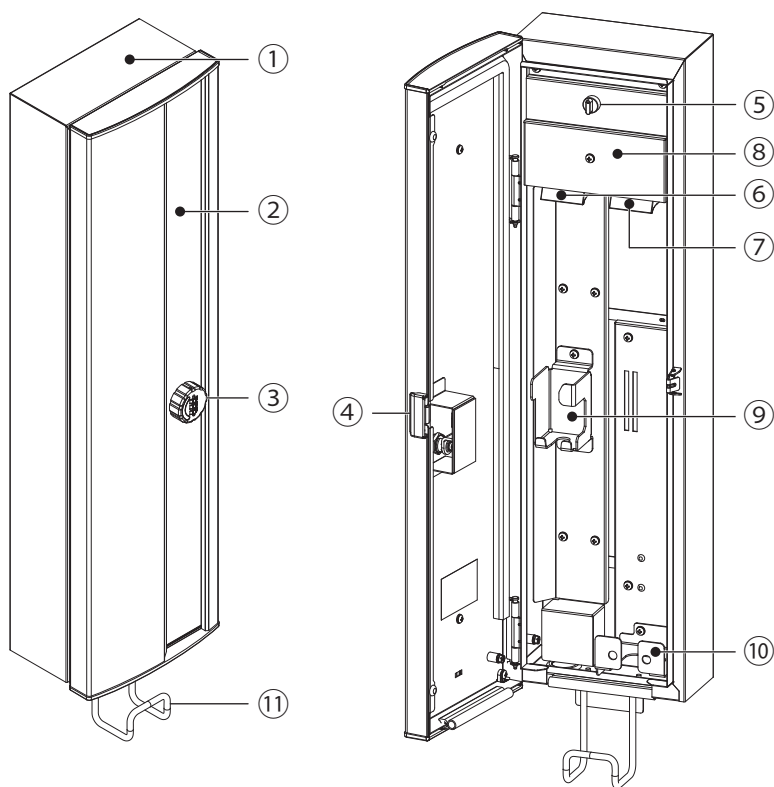
  交換の目安として、1 日 10 回の抜差しで約 3 年です。

- 製品は予告なく、付属品を含め、製品の全部または一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

- 100Vコンセントで［EV・PHEV充電用］電源プラグ以外のプラグを使用する場合、通電は可能ですがロック機能は働きません。また、右記プラグや特殊な形状のプラグは使用できませんのでご注意ください。

はじめてお使いになるときは

●本製品をご利用の前に車両の取扱説明書をよくお読みの上、車両の取扱説明書に従い作業を行ってください。

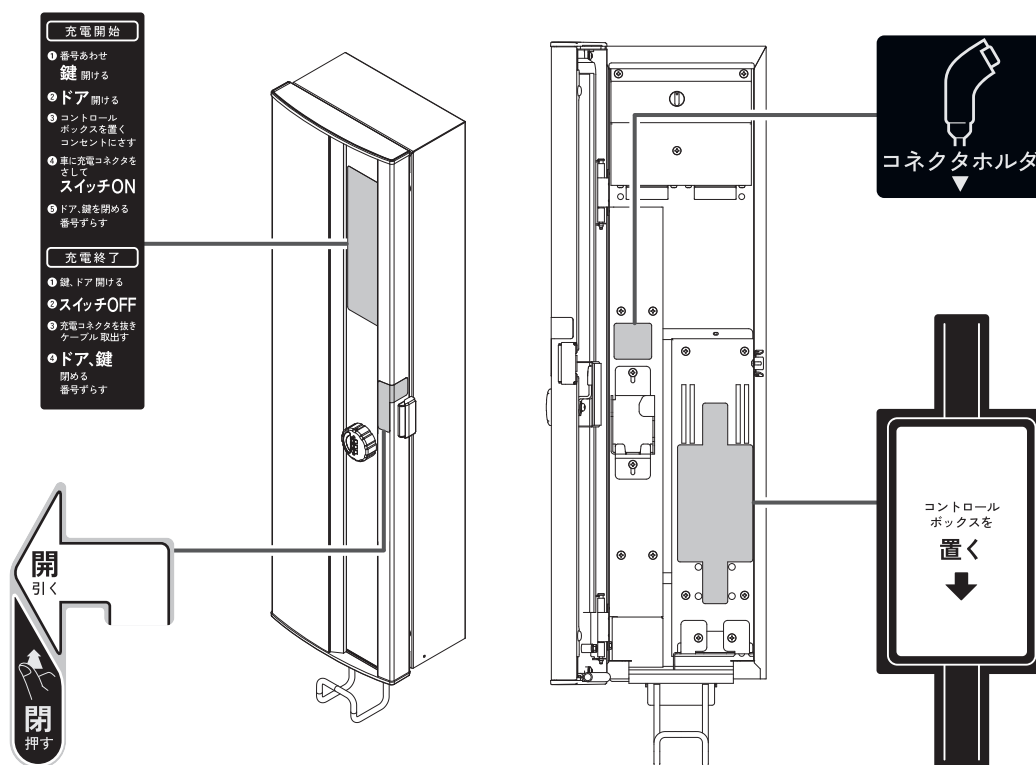
●対象車載充電ケーブルについて（2013年6月時点）JWDS-0033に準拠した電源プラグを装備した国内主要EV・PHEV車載充電ケーブル全てに使用可能です。最新状況については弊社ホームページでご確認ください。

イメージ

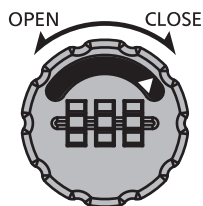
各部の名称

	部品名
①	ボデー
②	ドア
③	ダイヤル錠
④	ラッチ
⑤	切替スイッチ
⑥	２００Ｖ用コンセント※
⑦	１００Ｖ用コンセント※
⑧	シールドケース（保護板）
⑨	充電コネクタホルダー
⑩	コントロールボックスホルダー
⑪	ケーブルフック

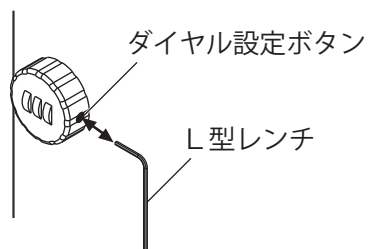
※同時に使用できません。

■付属品

部品名	施工説明書	取扱説明書 （本紙）	L型レンチ	付属品ラベル
数量	1部	1部	1個	各1枚

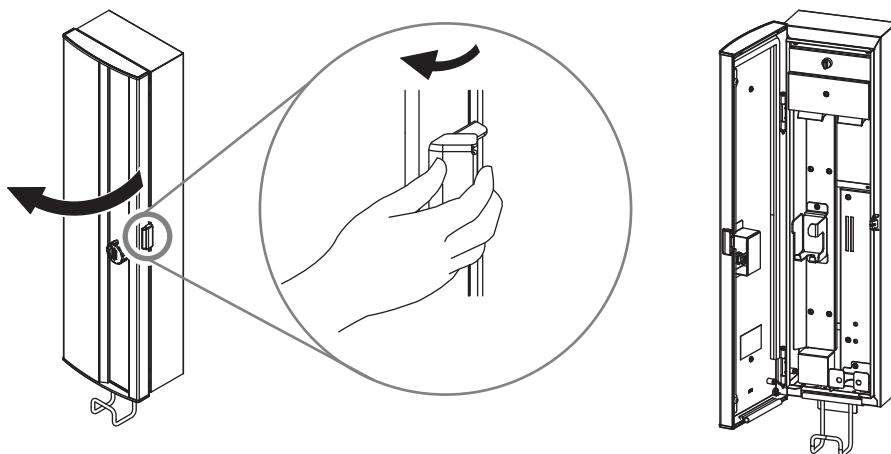
付属品ラベルは、お好みにより下記を参考に貼付けてください。

ドアの開けかた・閉めかた

■ダイヤル錠の解除

ダイヤル錠を左にまわすと開錠状態になります。
右にまわすと施錠状態になります。

開錠番号設定方法

①開錠番号が合っていることを確認し、ダイヤル設定ボタンをＬ型レンチで押します。
（出荷時の初期設定は０００です）
②ダイヤル設定ボタンを押したまま、好みの番号に設定し、ダイヤル設定ボタンからＬ型レンチを引くと開錠番号が変わります。
③開錠番号を忘れると開錠できなくなります。下記に開錠番号をお控えの上、大切に保管してください。

開錠番号
お客様控え

■ドアを開ける

ラッチに指を掛けて、手前に引いてください。

■ドアを閉める

このあたりを手で押してください。

充電方法

⚠危険			
禁止	**通電中に端子部に触れないでください。** 感電、誤動作の原因になります。	分解禁止	**分解、改造は絶対に行わないでください。**
	こどもなど不慣れな方だけで充電作業を行わないでください。	指示	**充電は車両の電源が切れている状態で行ってください。** 故障、感電、けがの原因となります。
	充電コネクタを車両に接続したまま発車させないでください。 故障、感電、けがの原因となります。		

■充電量の確認方法について

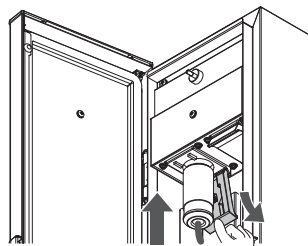
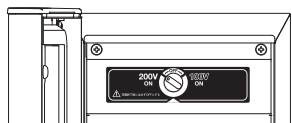
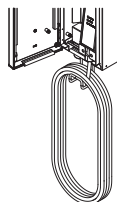
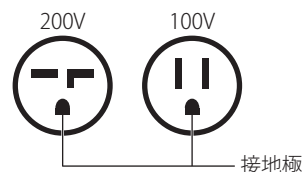
本製品には、車両の充電量や充電時間を表示する機能はありません。
車両の取扱説明書をご確認ください。

1 充電ケーブルの接続～充電開始

1-1 ダイヤル錠を開錠し ドアを開ける

1-2 ケーブルの接続と 切替スイッチの操作

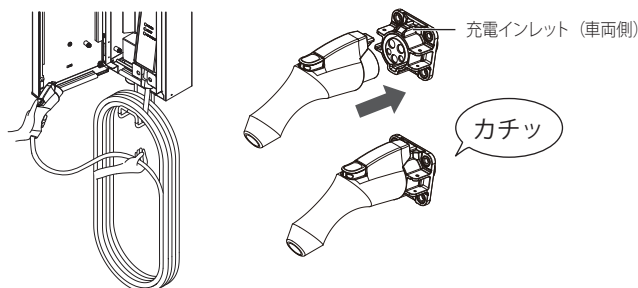
① コントロールボックスをボデー内に入れる（P.13をご参照ください）

② コンセントカバーを押下げ、コンセントに電源プラグを差込む

③ 切替スイッチを操作する

④ 充電ケーブルをケーブルフックに掛ける

・接地極の位置を確認して接続してください。

・電源プラグの本体を持って、奥まで確実に差込んでください。

・200V・100Vコンセントの同時使用はできません。

・電源プラグを差込んだ方にスイッチを切替えてください。

1-3 ドアを閉め、ダイヤル錠を 施錠する

1-4 車両に充電コネクタを 差込む

① ケーブルフックから適当な長さの充電ケーブルを取外す

② ロック解除ボタンを押さずに差込む
※車両の取扱説明書をご確認ください。

充　電　中

車両側で充電が開始されていることを確認してください。

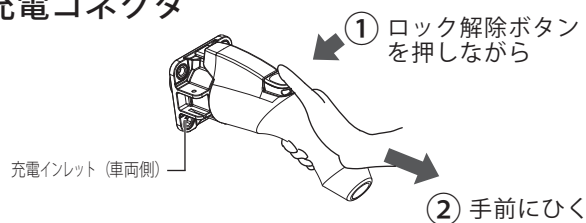
操　作　　おしらせ

2 充電ケーブルの取外し～充電終了

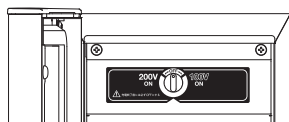
2-1 車両から充電コネクタを取外す

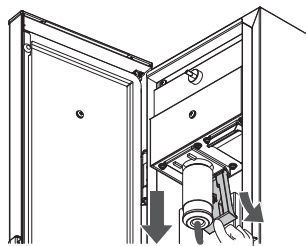
① ロック解除ボタンを押しながら

充電インレット（車両側）

② 手前にひく

・車両が満充電の状態になると充電は自動で終了します。

・充電中でも充電コネクタを車両の充電インレットから外すと充電は自動で終了します。

2-2 切替スイッチの操作

・電源プラグをOFFに切替えてください。

2-3 コンセントカバーを押下げ電源プラグの本体を持ってコンセントからぬく

・必ず電源プラグの本体を持ってゆっくりとぬいてください。

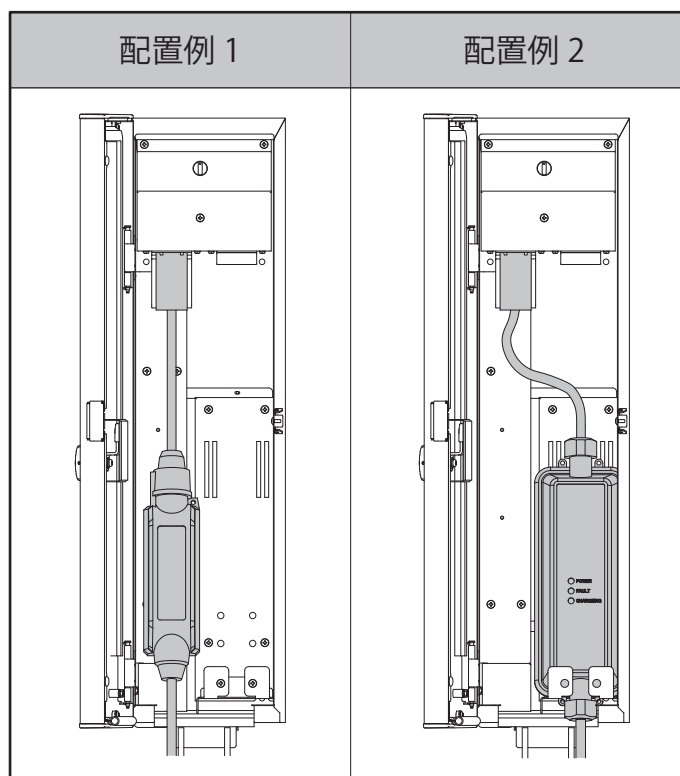
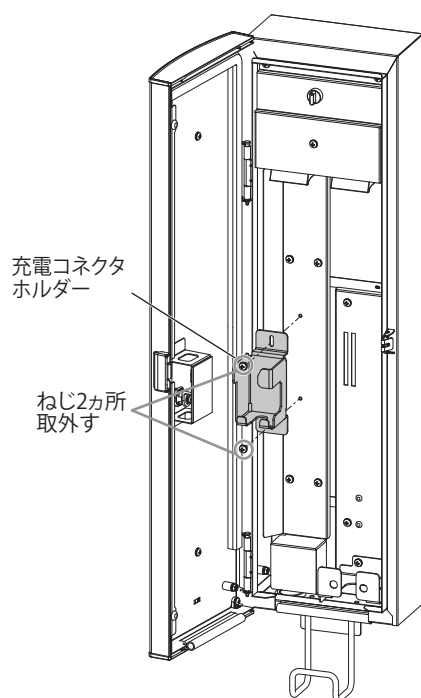
2-4 コントロールボックスを取出し、ドアを閉めダイヤル錠を施錠する

コントロールボックスの収納

ご使用の用途によって充電コネクタホルダーを取外したり、コントロールボックスホルダーの取付位置を変更することができます。

■使用例１：都度、充電コネクタ、コントロールボックスを取外す場合
（不特定多数の人が使う場合）

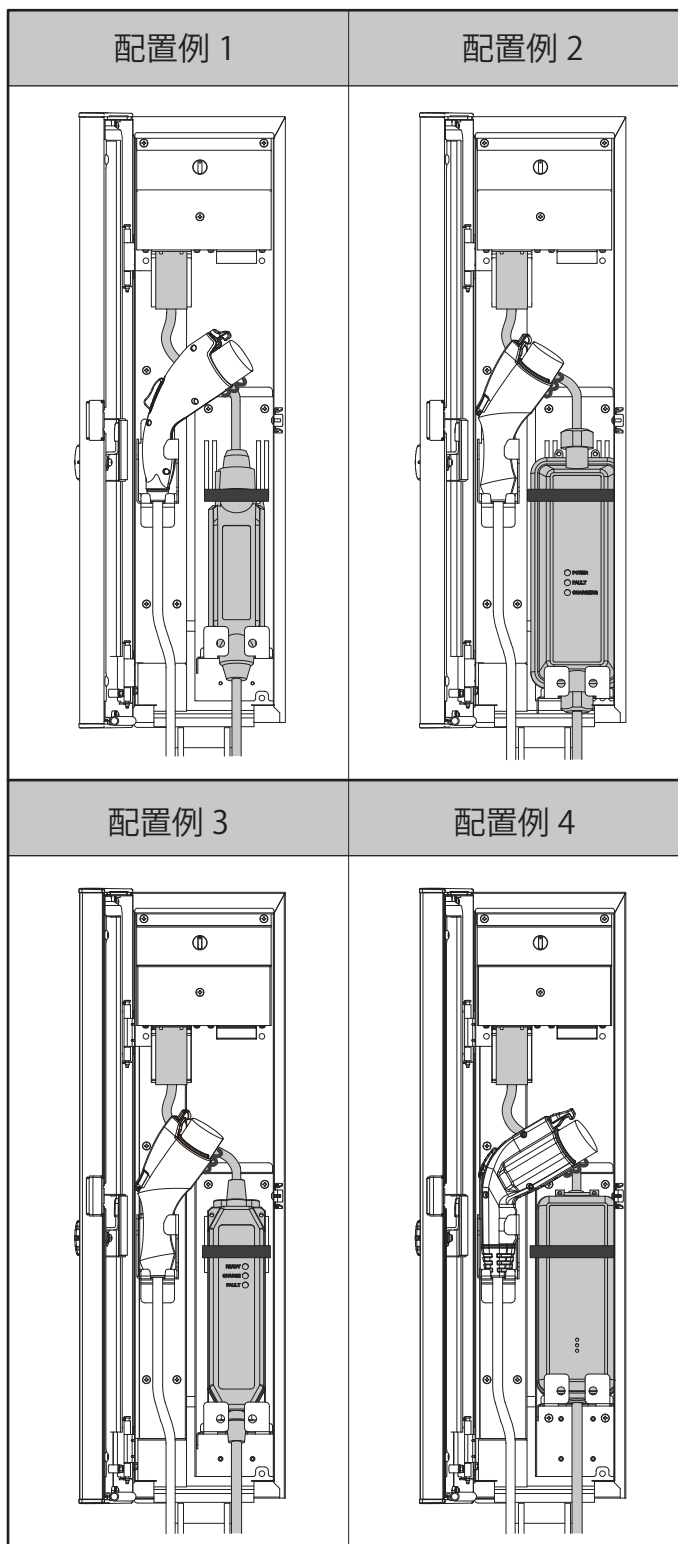
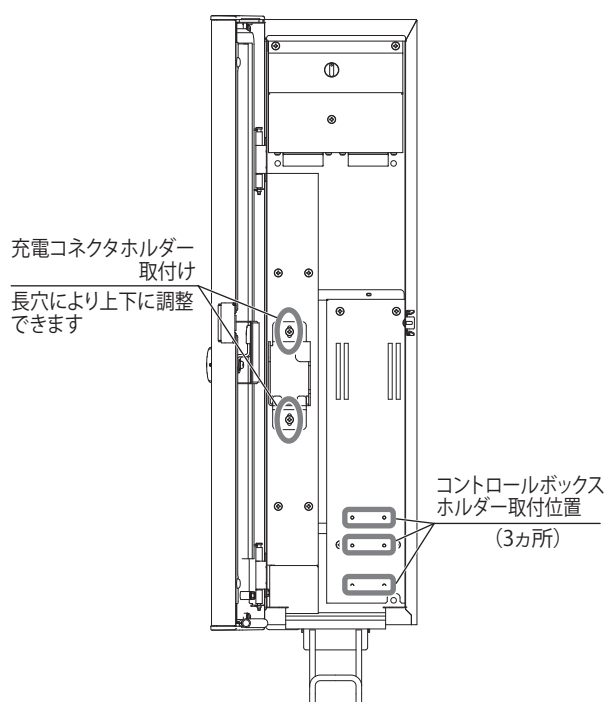
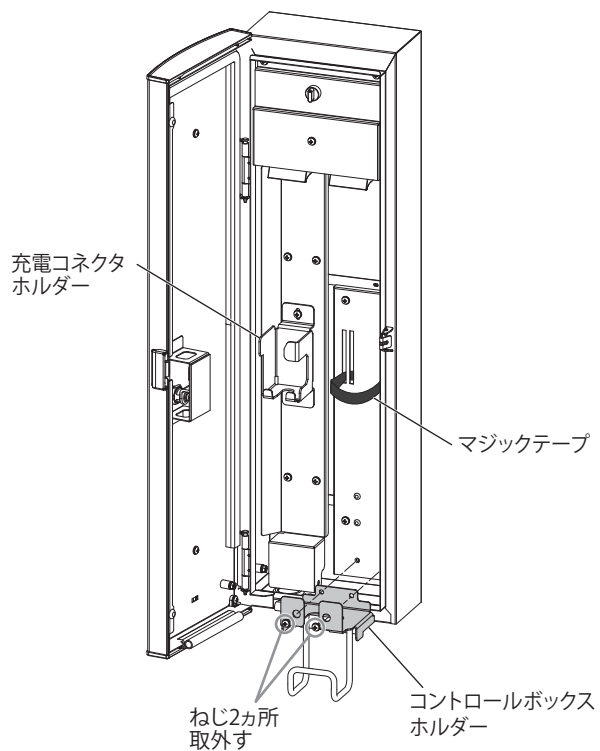
①充電コネクタホルダーを取外してください。

②下記の収納方法を参考にコントロールボックスを収納してください。

（2013 年 6 月時点）

■使用例２：都度、充電コネクタ、コントロールボックスを取外さない場合
（特定の人が使う場合）

①充電コネクタやコントロールボックスの大きさに応じて充電コネクタホルダー・コントロールボックスホルダーの位置を調整してください。
（推奨締付トルク：1.47～2.45N・m）

②マジックテープでコントロールボックスを固定してください。

③充電コネクタのキャップを付けて収納してください。

（2013 年 6 月時点）

故障かな？と思ったら

以下のことをご確認の上、”対策・処置のしかた”をお試しください。
それでも解決しないときは「お問合わせ先」(P.20)までご連絡ください。

こんなときは	原因・調べるところ	対策・処置のしかた	参照
充電が開始しない	電源プラグがコンセントに確実に差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに確実に差込んでください。	P.11
	コンセントまで電力がきていない可能性があります。	給電元の漏電ブレーカが作動したり、停電していないかご確認ください。	―
	車両に充電コネクタが確実に差込まれていますか？	車両に確実に充電コネクタを差込んでください。	P.11
	車両側がタイマー充電の設定になっていませんか？	車両の充電設定をご確認ください。	―
	充電が満タンではありませんか？	車両の充電状態をご確認ください。	―
	切替スイッチがOFFまたは位置が違う可能性があります。	切替スイッチをご確認ください。	P.11

お手入れのしかた

⚠警告

高圧洗浄は絶対にしないでください。
感電や故障の原因になります。

本製品をクリーニングする場合や、部品を交換する場合は、必ず本製品の切替スイッチと給電元ブレーカをOFFにし、本製品への電源供給を停止してから行ってください。
感電や故障の原因になります。

⚠注意

たわしや研磨剤、アルコールやベンジンなどの可燃・不燃性溶剤等を使用して洗浄しないでください。
製品を損傷するおそれがあります。

クリーニングする際は、ワックスやカーシャンプーを使用しないでください。
製品を損傷するおそれがあります。

動物などの排泄物が付着した場合は、クリーニングしてください。

ボデー内部に水が付着している場合は、乾いた布で拭いてください。

ボデー内部にごみなどがある場合は取除いてください。

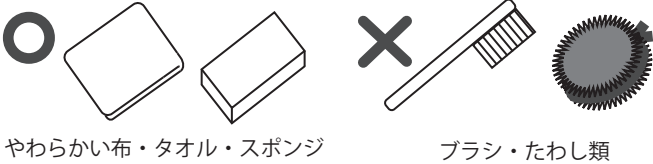
有機溶剤、切削油、薬品等のかかる場所または充満した場所では使用しないでください。また、本製品外装部品の耐薬品性は下表を参考にしてください。

薬品など	性能	薬品など	性能	薬品など	性能
弱酸	○	アルコール	×	シンナー	×
強酸	×	ベンジン	×	四塩化炭素	×
弱アルカリ	○	ガソリン	×	油	×
強アルカリ	×	灯油	×	有機溶剤	×

○：実用に耐える
×：使用に適さない
（ヒビ、割れの発生する可能性有り）
設置場所の環境条件により差が生じる場合がありますので、ご使用の際は必ず使用目的に沿った実用試験にて性能を確認してからご使用ください。故障の原因となる可能性があります。

汚れた場合は水でよくしぼったやわらかいタオル・布・スポンジなどで拭いてください。

やわらかい布・タオル・スポンジ

ブラシ・たわし類

日常点検・定期点検

安全にご使用いただくため、日常点検を定期的に行うことが必要です。
下記の点検を実施してください。

定期点検（１か月に１回）

●破損している部分はないか
●製品が傾いてないか
●コンセント固定部のゆがみはないか
●コンセント樹脂部の割れや欠けがないか

定期点検（半年に１回）

●プラグの差込み時にゆるみはないか
●プラグの差込み時の異常なかたさはないか

点検の結果、不具合をみつけたり、修理・交換が必要な場合は「お問合わせ先」（P.20）までご連絡ください。

仕様

<table>
<tr><td colspan="2">項目</td><td colspan="2">仕様</td></tr>
<tr><td colspan="2">定格電圧</td><td>ＡＣ２００Ｖ</td><td>ＡＣ１００Ｖ</td></tr>
<tr><td colspan="2">基準定格電流</td><td>２０Ａ</td><td>１５Ａ</td></tr>
<tr><td colspan="2">連続使用定格電流</td><td>１６Ａ</td><td>１５Ａ</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法
（Ｗ×Ｈ×Ｄ）</td><td colspan="2">２０５㎜×７７０㎜×１３７㎜</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td colspan="2">約１０㎏</td></tr>
<tr><td rowspan="3">環境</td><td>保護性能</td><td colspan="2">ＩＰ４４相当（ケーブル入線部は除く）</td></tr>
<tr><td>設置環境</td><td colspan="2">屋内および屋外</td></tr>
<tr><td>温度</td><td colspan="2">－２０℃～＋４０℃（氷結なきこと）</td></tr>
</table>

品質保証

保証期間

（１）保証期間

保障期間は、お客様ご指定の場所に納入後、１年間とし、製品本体を対象とします。

（２）保証内容

保証期間中に納入業者の責により故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換、または修理を納入者側の責任において行います。ただし、次の該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

（１）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障や損傷
（２）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
（３）火災、地震、水害、雷害、その他の天災地変および、公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷
（４）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
（５）法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
（６）建築躯体の変形など本体以外に起因する商品の不具合
（７）経年変化（ご使用に伴う磨耗や変色など）または経年劣化（樹脂部分の変質など）による商品の不具合

お問合わせ先

故障・修理については、下記へお問合わせください。

お客様相談室　（0561）64-0152

車載の充電ケーブルについては、各メーカーにお問合わせください。

施工業者名	
TEL	施工年月日　　年　　月　　日

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
この説明書の内容は 2015 年 7 月現在のものです。

B200220921

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
http://www.nito.co.jp